大分東明高等学校 商業科　商業・介護福祉コース　実習要項（抜粋）

［ 実習のねらい］

1　個々の生活リズムや個性を理解するという観点から様々な生活の場において個別ケアを理解し、利用者・家族とのコミュニケーションの実践、介護技術の確認、多職種協働や関係機関との連携を通じてチームの一員としての介護福祉士の役割について理解する。

2　個別ケアを行うために個々の生活リズムや個性を理解し、利用者の課題を明確にするための利用者ごとの介護計画の作成、実施後の評価やこれを踏まえた計画の修正といった介護過程を展開し、他科目で学習した知識や技術を総合して、具体的な介護サービスの提供の基本となる実践力を習得する。

	1年	2年	3年
各学年における実習計画	見学実習 Ⅰ期 高齢者関連施設 Ⅱ期 障害者施設	介護実習 Ⅰ期 高齢者関連施設 Ⅱ期 高齢者関連施設	介護実習 高齢者関連施設
実習時期	Ⅰ期 7月（5日間） Ⅱ期 3月（10日間）	Ⅰ期 8月～9月（15日間） Ⅱ期 11月（10日間）	6月～7月（25日間）
実習時間	8:30～16:30（月～金） 休憩(1時間)、カンファレンス、記録時間含む ＊学校における実習報告会 8:30～12:30（土）	8:30～16:30（月～金） 休憩(1時間)、カンファレンス、記録時間含む ＊学校における実習報告会 8:30～12:30（土）	8:30～16:30（月～金） 休憩(1時間)、カンファレンス、記録時間含む ＊学校における実習報告会 8:30～12:30（土）
実習のねらい	施設を見学することで介護の実践の場を理解することができる。 また、授業で学習した基礎的知識をもとに、利用者と直接接することで、自分なりの介護に対する心構えを育てる。 障害者のサービス提供の場を知るとともに、制度の理解と障害の種類、特性に対する理解を行う。	利用者の日常生活において、安全と安楽を考え、コミュニケーションを深めることで、精神的、身体的ニーズに応じた介護を実施する。その結果、利用者の状態や反応を観察し、正確に記録する力を養う。	利用者は、一個人であることを踏まえ、現在の介護状況だけを把握するのではなく、要介護状態になるまでの生活環境、成長発達段階、一日の過ごし方、生活上の楽しみ、社会・家庭における役割などを把握し、継続した包括的介護をすることができる。 利用者個人の介護を全体的に把握し、アセスメント、介護計画の立案、実施、評価を含む介護過程の展開について学ぶ。